

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292700067		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート天王台		
所在地	〒270-1176 千葉県我孫子市柴崎台3-9-19		
自己評価作成日	平成28年11月8日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・過度なケアはせずに主体性を重んじたケアの実施 ・施設のような雰囲気ではなく、家庭の雰囲気を大切にした住環境 ・1日1笑をモットーに、その積み重ねが最終的に充実した時間を過ごす ・ご家族様との絆の橋渡しであること(連絡を密に取りあい、月1回写真の送付など) ・運営推進会議
--

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階
訪問調査日	平成29年2月23日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>職員一人ひとりが会社の経営理念を踏まえ、利用者の生活の活性化や事故防止に向けて意識高く取り組んでいます。特に事故防止には全体で意識高く取り組んでおり、事故の無い生活を目指すために事務所内にカウンターを設置し職員の意識を高めています。また、地域とのコミュニケーションづくりにも前向きに取り組んでおり、毎週水曜日に地域の65歳以上の高齢者を対象とした「健康体力づくり教室」を事業所で開催し、地域の高齢者を受け入れ、事業所の専門性の還元につなげています。今後に向けても事故を防止し、安全に楽しく生活が送れるように取り組むと共に、地域との交流拡大に取り組むことを目指しています。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社是、経営理念、心得の唱和を毎日実施	会社の社是、経営理念、心得をホーム内に掲示しており、毎月の「拠点会議」時に振り返る機会を設けています。職員一人ひとりも会社の経営理念を踏まえ、利用者の生活の活性化や事故防止に向けて意識高く取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事、地域での買い物など通して地域社会との繋がりを確保している	地域で開催されるお祭りには利用者と一緒に参加をし地域の方と交流が図れるように取り組んでいます。また、毎週水曜日に地域の65歳以上の高齢者を対象とした「健康体力づくり教室」を事業所で開催し、地域の高齢者の受け入れを行っています。	今後に向けては地域のボランティアの受け入れや子どもたちとの交流などを通じて地域との交流がより充実していくことを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩、運営推進会議などを通じて事業所を認知していただくところまでしかできていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告内容に力を入れ、ご意見に関しては特に頂戴することなく概ね満足していただいています。	会議には市役所担当課、地域包括支援センター、地域住民代表者、家族代表者、近隣の居宅介護支援事業所の参加を受け2ヶ月に一度定期的に開催しています。会議では事業所の取り組みなどの報告のほか、参加者との意見交換を通じてサービス向上につなげてけるように取り組んでいます。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターとの密な関係を築き、紹介や相談をいただく事が多くなった。	市役所の担当課とは運営推進会議を通じて定期的に意見交換を行うほか、運営上、相談が必要なケースについては担当課に連絡を入れ指示を仰いでいます。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束ゼロが基本。ベッドから転落のおそれがあるならば、床にマットレスを敷いて拘束することなく対応している。	ホーム内において「身体拘束、高齢者虐待防止」研修を開催し、職員個々の意識を高めています。ホーム内では利用者に対して適切な対応が図られており、現状身体拘束につながる事例は発生していません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の為、お客様の言動や行動に合わせてスタッフが変わっていくように指導している。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	業務を通じてお客様の権利に関しては学ぶ機会も多く、得た知識で他のお客様にもご提案をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	しっかりと時間を取り、読み合わせながら説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様アンケートの実施	家族からの意見や要望については、面会時に訪れた際や電話連絡の際に直接確認をしています。また、年に一度本部から「顧客満足度調査」を実施しており、ホームに対して意見や要望を表出できる機会を設けています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	従業員アンケートの実施	管理者は3ヶ月に一度職員と個人面談を実施し、意見や要望等を定期的に確認しています。支援や業務に関する内容については毎月の職員会議時に意見や提案を収集し、業務改善等につなげています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談の実施		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画に沿った研修の実施		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護支援専門員協議会への入会		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントをしっかりと行い、入居後はコミュニケーションに力を入れて人間関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス担当者会議をしっかりと行い、入居後はコミュニケーションに力を入れて人間関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントをしっかりと行い、入居後はコミュニケーションに力を入れて人間関係の構築に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	過度のケアは避け、出来ることはどんどんやっていただけようように取り組みをしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	絆の橋渡し役を担う意識のもとでご家族様との連携を図っています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会などの制限は設けず、時間に関しても事前にご連絡いただければ早い時間、遅い時間に対応しています。	これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないように、面会の制限を設けることなく、知人などの来訪についても受け入れています。また家族の協力を得ながら馴染みの場所に外出するなど、これまでの関係性が途切れないよう取り組んでいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションを一緒にやる、散歩を複数で行くなどの取り組み。車椅子を介助したりもします。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用終了後はいつでもご相談くださいと連絡をしていました。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントでは本人の希望を必ずヒヤリングし、困難な場合はご家族様の希望も考慮しながら本人の生活イメージをしている。	利用者の思いや意向については日常会話の中から収集し、日々の支援に反映しています。また、ケアプランの作成および更新時にはアセスメントを実施し、利用者の現状や課題、思い等を抽出しケアプランに反映しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	現在、過去の担当者にヒヤリングし面談では知りえない情報を聞くようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	同上		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	原案の作成をしてサービス担当者会議に臨んだり、その場で作り直ししながら作成している。	ケアプランの作成および更新時には担当者会議を開催し、職員や家族の意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを作成しています。ケアプランで掲げた目標の進捗は毎月のモニタリングで確認しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、個人記録を参考に現場の意見もヒヤリングしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自由な発想をしてもらい、実現できるか否かに関しての協議を管理者、CM、ケースによっては現場スタッフで検討している。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	社協が主催する地域サロンへ参加		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科往診が基本。その他必要に応じて通院支援をしております。	提携先の医療機関とは定期的な訪問診療を通じて連携を図り利用者の健康状態を管理しています。利用者の体調変化時には併設の小規模多機能事業所の看護師と連携を図り、迅速に対応できる体制を築いています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在関わりはないが、いつでも関わりが持てる関係作りはできている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	適宜連絡を取り、入院中は勿論、退院までの支援に取り組んでいる。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居ご契約時にご説明はしているが、仮にガーデンでみれない方がいたら、ご家族任せにせず最後まで携わるように意識している。	重度化や終末期に向けた方針については、利用契約時にホームとして取り組めることを家族に説明し、早い段階から方針を共有できるように努めています。生活を送る中で重度化が見られる際には、家族、主治医と協議し、今後の方針を検討しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急連絡網に従って行動するように周知している、		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練の実施。	火災を想定した避難訓練を今年度6月と2月に実施しています。夜間の火災を想定し近隣の協力については運営推進会議時等で協力を呼び掛けています。また、今年度は「風水害、震災、災害対応マニュアル」の整備や災害時の備蓄品の保管方法についても会社で定め、体制の整備が図られています。	定期的に避難訓練を実施していますが、今後に向けては様々なケースを想定し、風水害を想定した訓練なども実施できると良いと考えます。

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	過度な敬語は使っていないが、その場求められる、必要に応じた言葉遣いをしている。	職員の言動や行動については、現場内でリーダーや職員が日頃から注意し合う環境を築き、適切な対応が図れるように取り組んでいます。トイレ誘導時の声掛けや居室への出入りについても羞恥心やプライバシーに配慮し対応しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択してもらうということを基本的なアプローチとして意識している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様が主体であることを研修等で周知している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	柄のついた洋服、髪型など見た目も清潔に保ちながら支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	できることはどんどんやっていただくということで、食器洗いや料理も手伝っていただいている。	利用者の状態を考慮し、できる方には食事の準備や後片付けに率先して関わることができるように支援しています。喫茶店で外食を楽しんだり、行事の際に行事食を楽しむなどの取り組みも行っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は朝、夕時に報告をしてもらい、その様子も報告してもらうようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、朝食後、昼食後、夕食後、就寝前と口腔ケアを実施している。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	時間介助の方もいるが、基本的にはしたい時に誘導し、排尿排便の間隔の管理をしている。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌に水分摂取量や排泄に関する記録を残し、利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝ヨーグルトを飲んでいますが、現在は水分を多くとりながらお薬でのコントロールをしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日は決まってしまうが、入る時間帯には幅を持たせている。	利用者の体調やタイミングを考慮し、週2回入浴できるように支援しています。入浴中は職員が介助につき、転倒等が生じないように安全面に配慮しています。好みのボディソープの活用やゆず湯などを通じて入浴の楽しみにつなげています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝る時間も特に定めず、お客様主体で動いている。ただし、昼夜逆転など防止の為、時間で誘導する方もいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時には薬剤師の同行をお願いし、担当ケアマネージャーも交えて意見交換をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出支援、行事、誕生会など工夫をして不定期に変化をつけている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物に付き合ってもらった形で車で一緒に買い物に行っている。また個別でも対応している。	毎月2回日曜日を外出支援の日として、利用者の要望に合わせて近隣の散歩やドライブなどに出かけ戸外活動の充実につなげています。また公共交通手段を使用してショッピングセンターに出かけるなどの取り組みも行っています。	

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お預かり金の中で訴えに応じている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎ、手紙が届けば本人にお渡ししている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設っぽくない演出は意識している。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	無理強いせず、お伺いした上で本人の意思を尊重している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お部屋は本人、ご家族様の好みで持参していただいております。整理整頓は職員の仕事です。	居室は、利用者やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、ご利用者が居心地よく過ごせるように配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できることはどんどんやっていただくということで、役割を見出す、もしくは自ら見出すことで自然と役割分担ができています。		